

まちづくり専門部会の課題【第1回専門部会】

■少子高齢化への備えが求められている

- ・担税力のある若者世代の転入を促進するため、魅力あるまちづくりが必要。
- ・今後、さらに増える高齢者が安心して暮らせるやさしいまちづくりが必要。

■限られた財政状況の中で、将来を見据えたメリハリのある計画が求められている

- ・今後、インパクトがある事業（鉄道立体化、地下鉄8号線等）が予定されている。
- ・インフラ整備による将来的な問題を予測し、都市基盤の維持・保守の負担も考慮した計画が必要。

■自然資源や環境対策などの強みを活かしたまちづくりが求められている

- ・恵まれた川と緑を活かしたまちづくり。
- ・川を活用した、リバーステーション（川の駅）や物資輸送機能の強化。
- ・先駆的な環境対策（ごみ資源化）などの取組みをアピールすべき。

■コミュニティがあり、安心して住み続けられるまちづくりが求められている

- ・集合住宅（ワンルーム）が増え、特に賃貸は自治会加入率が低い。
- ・老朽家屋や無接道家屋への対策や密集地域の解消が必要。
- ・障がい者などの災害弱者が逃げなくても良いよう、不燃化・耐震化が必要。

■さまざまな課題に柔軟に対応できるルールや仕組みづくりが求められている

- ・集合住宅の将来的なスラム化や、ワンルームマンションによる弊害などを防ぐための一定の規制が必要。
- ・まちづくりに対応できる柔軟なルールや仕組みが必要。

■民間活力の導入などによる、潜在的なポテンシャルを活かすまちづくりが求められている

- ・今後、都営住宅建替えによる余剰地や学校跡地の活用が予想される。
- ・エリアデザインなど、民間資本を活用し、優先順位や効率性を考えた開発が必要。
- ・今後のまちづくりにおいては、地元への還元という視点が不可欠。

■地域特性を活かした、人を呼び込める魅力のあるまちづくりが求められている

- ・地域ごとの特性を活かした、住む場所の選択肢があるまちづくり。
- ・集客機能や、文化・医療などの目的をもったまちづくりが必要。

まちづくり専門部会からの提案事項【第2回専門部会】

足立区の将来像（あるべき姿）

（キーワード案）

- 誰もが安心して住み続けられるまち
- 足立区の強みや特性を活かした魅力があるまち
- これからの発展が期待できるまち
- 将来を見据えた計画性のあるまち

将来像を設定した根本となる考え方（基本理念）